



町老人クラブ連合会総会が、4月28日、あしびの郷・ちなでありました。総会では、新年度事業計画などが承認され、午後からは、19題もの演芸発表で盛り上がったほか、「喜寿の人生」と題し曹洞宗僧侶黒田寛之先生による講演が行われ、会場は最後まで活気にあふれていました。

自立した生きがいある生活を目指して



植樹祭・沖泊海浜公園ボランティア清掃が、4月29日にありました。植樹祭では、大山の自衛隊基地入り口で大山緑の少年団員を中心に、約150人がヒカンザクラ200本とコクタン50本の植樹を行い、沖泊のボランティア清掃では、200名近くの町民が参加し、海岸は短時間できれいな砂浜に戻りました。

第17回植樹祭&ボランティア清掃



旧田皆保育所跡地に防災拠点施設として新築された、田皆コミュニティセンターの落成式が、4月29日にあり、地元住民のほか関係者など約200名で完成を祝いました。建設には、基地周辺事業が活用され、バリアフリー、災害時でも快適な避難施設、帰省客等の宿泊施設といった要望が盛り込まれた設計となっています。

田皆コミュニティセンター落成式



田皆中学校屋内運動場の上棟式が、5月1日に同校であり、地元住民や学校関係者、保護者などが出席しました。上棟式を終えたあと、建設中の体育館の上から386個の餅がまかれ、集まっていた人たちは上に向かって手を伸ばし、まかれる餅を一生懸命受け取っていました。

無事に完成することを願って



マハダグムイ（おきのえらぶ島観光協会主催）が、5月5日、笠石公園近くの海岸でありました。マハダグムイとは、昔から行われている追い込み漁で、潮が引いた浅瀬の中に追い込まれたイソマグロを漁師のみなさんが次々と素手で上げられていく光景に、集まった人は歓声を上げていました。

伝統的な追い込み漁に興奮



町民による手作り劇「キサの物語」が、5月4日、メントマリ公園で初上演されました。出演者は5歳から60代までの老若男女でスタッフも含め約40人。初の野外劇を見に訪れた観客は、劇が進むにつれて物語に引込まれた様子で、約1時間半の舞台が終わると大きな拍手を送っていました。

町民手作り劇「キサの物語」